

ホームレス猫へ無責任にエサをあげて
不幸な命をさんざん産ませ、
去勢不妊の必要性を理解した途端、
手術費を一円も出したくなくて、
エサあげをやめた残酷な女が
太田町 須川町だけでも3人もいます

そして、その尻ぬぐいを当方が続けています

この3人の女の固有名詞を知りたい方は
アニマルポリス星野までお問い合わせください

● ● ● ● ● ● ● ●

このビラを名誉毀損だと騒ぐ女がいたら、
その女が該当者だと疑ってください

3人のうち一人は、言葉巧みな海千山千女

不妊手術が終わった頃を見計らって接近してきて「手術費なら私が出そうと思ったのに。。。」と言う。そう思うなら今からでも遅くはない、すぐに星野へ返済すべき。この種の輩は、出すべき時期には接近を避け、不妊手術が終わった頃を見計らって「私が出すつもりだった」と接近してくる。

本音を見極めるには「今からでも遅くはない。出す義務のない手術費を出した人へ返済したらどうですか？」と問えば良い。言葉ではなんとでも言える。行動が本音。右に行きたい人は右に行く。言葉なら、左に行きたいのに右に行きたいと嘘をつけるのだ。

当方はボイコットネットワークも同時進行中。
女のうちのふたりは飲食店を営んでいる。
店をボイコットすることが正義を貫くことになります。

主婦 ボランティア アニマルポリス
〒960-8066 福島市矢剣町11-3
星野節子 024-563-7650 (tel fax)